



写真(右上):丸亀駅を発車する高松行きSL客車(昭和39年2月)
 (右下):旧線を橋で渡り、北側の高架新駅へ(昭和62年10月2日)
 (左上):讃岐塩屋駅の東で高架が替わる直前の様子(昭和62年9月)
 (左下):讃岐塩屋駅を通過する特急電車「しおかぜ」(平成20年1月)

丸亀とウオチンガ[®]

写真・文/石井 誠一

交通の発達^⑪

SLが消え 電車が高架駅に

四国の人々の中には、旧国鉄の列車を「汽車」と呼び、私鉄を「電車」と言う人が多い。大都市のある本州の人々は「電車」と呼んでいる。このような呼び方の違いは、四国を走る鉄道が、第二次世界大戦後、ディーゼル機関車やディーゼルカー(気動車)が多く導入され、昭和四十年代初頭までSL(蒸気機関車)が客車や貨車を牽引し、電化が遅れたためである。

戦後、本州では、大都市近郊や主要幹線の電化が進められたが、四国は北海道の札幌付近より十七年半遅く、今でも電化区間は高松―伊予市、多度津―琴平だけである。本州の東海道本線は、昭和三十一年十一月に全線が、山陽本線などの主要幹線も三十年代、四十年代初頭には電化された。鉄道の電化は、運転本数の多い線区に見られ、地方のローカル線は気動車の運転になっている。SLの時代には、途中の拠点駅で水や石炭の補給が

あり、停車時間が長く、駅のホームには洗面台が設置されていた。高松―松山が開通した時の最速列車は五時間三十五分。高松―高知間の最速は四時間であった。昭和二十七年一月、気動車の導入で、旅客は煤煙から解放され、所要時間も短縮された。そして、讃岐塩屋駅など無人駅が県内の予讃線に五駅新設されたが、停車列車はわずかだった。



旧線跡

昭和六十二年三月、四国で初めて高松―坂出、多度津―観音寺、多度津―琴平の電化が完成したが、坂出―多度津の電化・高架線への切り替えは、丸亀付近の高架工事のため、同年十月二日となった。同時に、宇多津駅付近も瀬戸大橋に接続する現路線に移設した。

高松―多度津の複線化工事は、昭和三十六年四月に着工され、四十―四十五年間に坂出―丸亀以外の区間が完成した。平成五年に坂出―丸亀が複線化され、待ち時間がなくなり、所要時間が短縮された。

昭和六十二年三月、四国で初めて高松―坂出、多度津―観音寺、多度津―琴平の電化が完成したが、坂出―多度津の電化・高架線への切り替えは、丸亀付近の高架工事のため、同年十月二日となった。同時に、宇多津駅付近も瀬戸大橋に接続する現路線に移設した。

高松―多度津の複線化工事は、昭和三十六年四月に着工され、四十―四十五年間に坂出―丸亀以外の区間が完成した。平成五年に坂出―丸亀が複線化され、待ち時間がなくなり、所要時間が短縮された。

あり、停車時間が長く、駅のホームには洗面台が設置されていた。高松―松山が開通した時の最速列車は五時間三十五分。高松―高知間の最速は四時間であった。昭和二十七年一月、気動車の導入で、旅客は煤煙から解放され、所要時間も短縮された。そして、讃岐塩屋駅など無人駅が県内の予讃線に五駅新設されたが、停車列車はわずかだった。

サービス拡大中!

車deトレイン

駅の駐車場が最大**2日間無料!!**

予約制 丸亀駅・琴平駅発着の鉄道利用社用タイプ乗車券
 料金を一定額以上お支払いの上お客様

※お一人様あたり乗車券額 2,000円以上... 1 日無料
 ※お一人様あたり乗車券額 4,000円以上... 2 日無料
 ※無料日数に際してはご利用料1,000円/1日(税込)

丸亀駅 TEL.0877-22-6131
 琴平駅 TEL.0877-73-4171

3月15日(土)ダイヤ改正 N700系新幹線増発

四国ポリテックビジョン 2008

次代を支えるものづくり 四国からのメッセージ

入場無料

平成20年 2月29日(金) 10:00~16:30
 3月1日(土) 10:00~15:00

記念講演 2月29日(金) 午後1時半~3時
 テーマ 地雷撤去に挑む~豊かで平和な大地への復興~
 講師 山梨日立建機(株) 代表取締役 雨宮 清氏

独立行政法人雇用・能力開発機構 四国職業能力開発大学校
 〒763-0093 丸亀市郡家町3202 ☎24-6290(代表)

広告掲載について詳しくは、市秘書広報課(☎248800)または市ホームページでご確認ください。

この広報紙は、四国新聞販売(株)に委託し、市内の全世帯(※一部地域を除く)に配布しています。配布のお問い合わせは、同社(☎0120-494459)までご連絡ください。
 ※城乾コミュニティ地区は同センター(☎0012)、綾歌町富熊地区はNPO法人かがわサンサン倶楽部(☎3162)へお問い合わせください。